

# 新型コロナウイルス感染症の影響等に関するアンケート調査 集計結果

林業木材産業事業者 編

令和3年4月

産業部林政課

# 新型コロナウイルス感染症の影響等に関するアンケート調査 集計結果

## 林業木材産業事業者 編

### 【調査目的】

国内での新型コロナウイルス感染症発生から約1年が経過し、林業木材産業事業における影響度を調査し、現状の把握及び分析を行うもの。

### 【調査方法】

文書依頼、メールまたはファクスによる回答方式

### 【調査対象】

林業木材産業事業者 37社

### 【回答者数】

29社（回答率：78.3%）

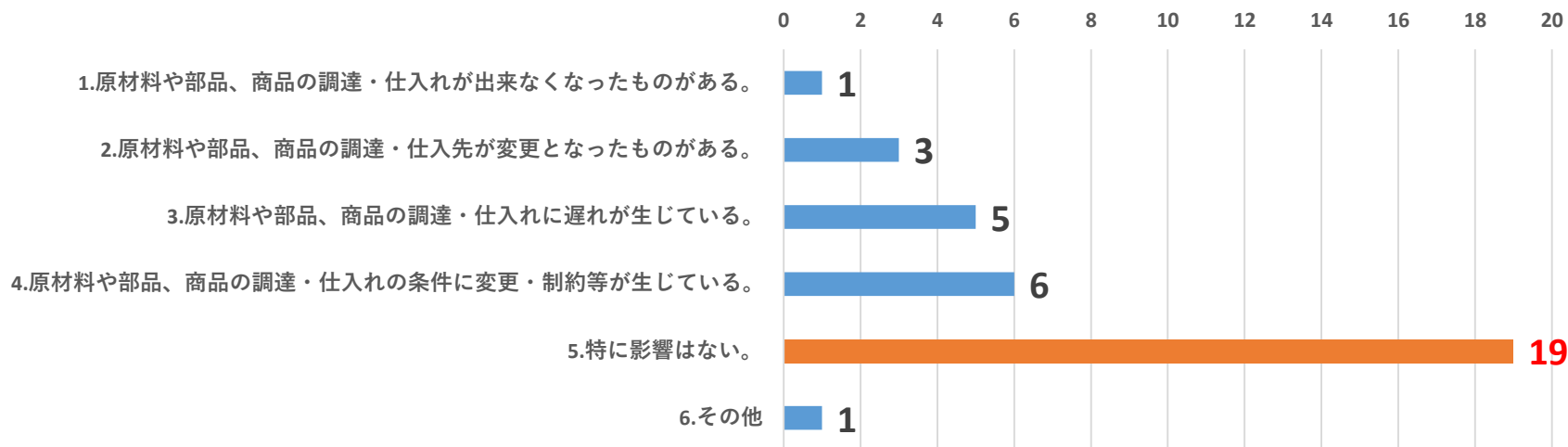
### 【調査期間】

令和3年3月8日 ～ 令和3年3月24日

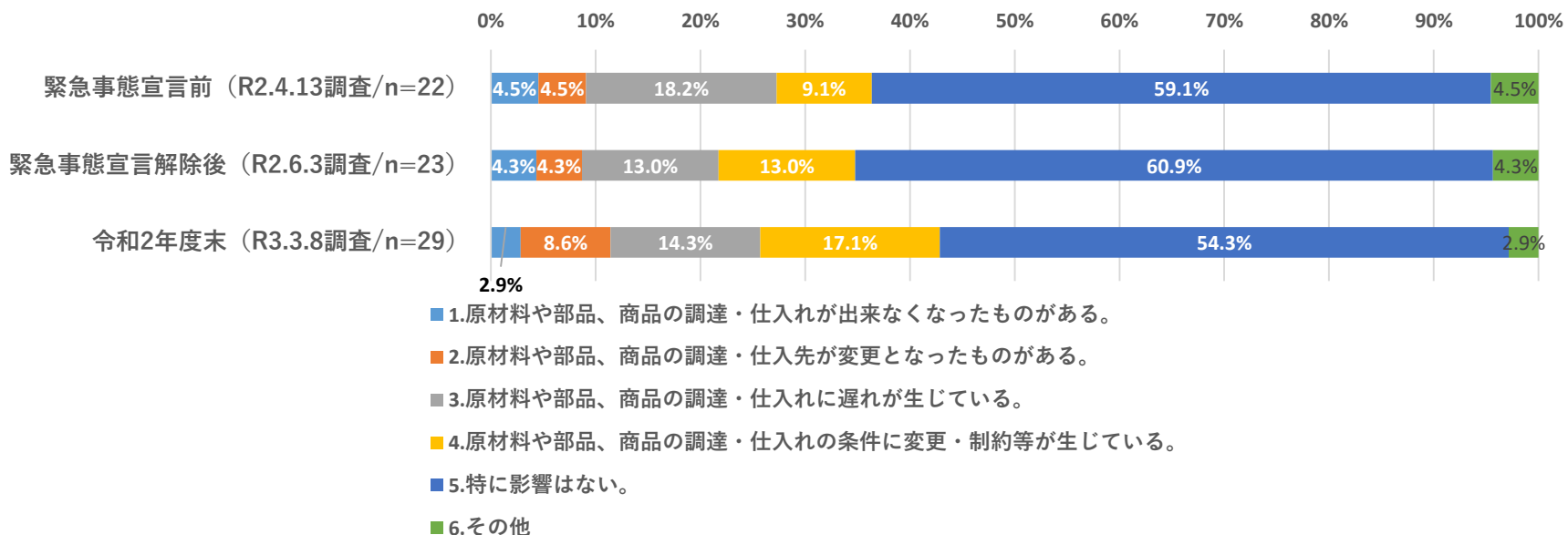
# I 新型コロナウイルス感染症の影響度 (コロナウイルス発生～現在まで)

# 1-1 現在、取引先からの、原材料や部品、商品の調達・仕入れに影響がありますか。 (複数回答可、該当する項目に○)

今回調査結果



調査結果比較



## 1-2 1-1の設問の回答について具体的な内容を記載してください。

### <森林整備>

○原木の流通状況については影響はなくなっている。

### <苗木生産>

○コンテナ苗木用培土の輸入が制限され、生産減少を余儀なくされた。

### <木材加工>

○今のところ丸太の仕入にはあまり影響が出ていないが、国内市場への海外からの丸太及び製品の供給が減少傾向になれば、5月以降原材料仕入に影響が出てくる事が予想される。

○1. コンテナ不足による契約分の、60%位の到着である（原材料）。

2. フレイト（海上運賃）の値上がりにより、原材料単価が20%の値上がりする（4月～6月）。

3. 製品単価に転化しづらい、難しい。

○輸入材に関しては一部入手が困難で且つ高騰している樹種が見受けられる他、別の強度で維持できる樹種に仕入を変更しているものもある。

○挽き製材の日本向け輸出量の減少／世界的なコンテナ不足による遅れ／輸入原料のコストアップ／国内原料への急激な転換による品薄とコスト

○機械部品仕入の遅延（海外部品他）／原材料費の値上がり、仕入先変更／仕入先工場停止による納品遅れ／仕入先都合による仕入不能

### <木工>

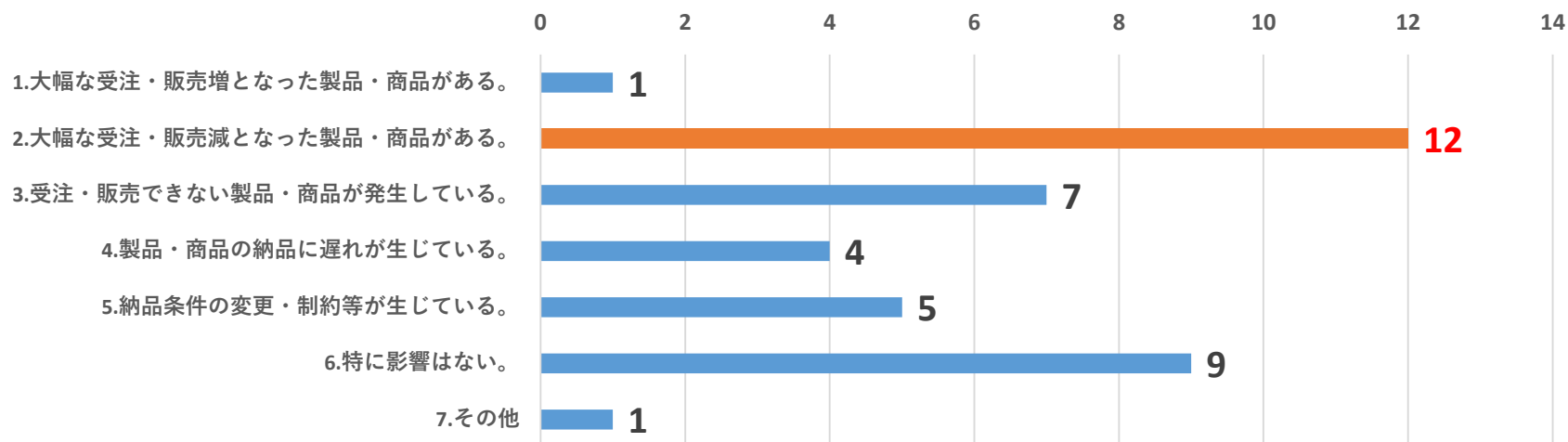
○秋田県北木材センターの倒産に伴い、仕入に苦労している。

### <木材流通>

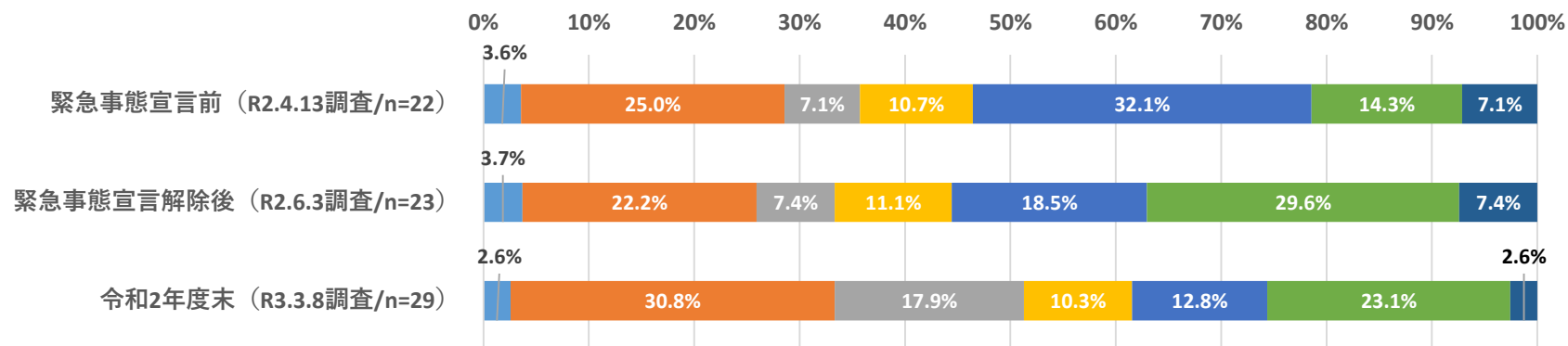
○昨年なら冬場に手山の主伐をしていた取引先では、造林請負が長引いたこと、針葉樹でなく広葉樹メインに切り替えたこと、その他仲間内の伐採手伝いを請負ったことなどにより、手山の主伐量が減少したところもある。それらによって、仕入予定数量の減少、供給遅れが起こっている。

## 2-1 コロナウイルス発生以降、取引先に向けた製品・商品の受注・納品等に影響はありましたか。（複数回答可、該当する項目に○）

今回調査結果



調査結果比較



- 1.大幅な受注・販売増となった製品・商品がある。
- 2.大幅な受注・販売減となった製品・商品がある。
- 3.受注・販売できない製品・商品が発生している。
- 4.製品・商品の納品に遅れが生じている。
- 5.納品条件の変更・制約等が生じている。
- 6.特に影響はない。
- 7.その他

## 2-2 2-1の設問の回答について具体的な内容を記載してください。

### <森林整備>

- 原木の流通状況については影響はなくなってきている。
- 仕入の減産による売上げマイナスを一部カバー。
- 丸太の買取価格の値下がり。

### <苗木生産>

- 各自治体関係の植樹祭等が中止になり、又プレゼント用苗木のキャンセル等での売上減が生じた。密を防ぐために補助事業で苗木選別機を導入したが、結果的に本来の25%の人員で作業が出来てそのスピードも3倍強になった。また正確な規格に苗木を揃えられた。
- 植樹祭等のイベント中止の為、広葉樹ポット苗木が販売出来ない。

### <木材加工>

- 関東方面に出荷している製品について在庫調整の為、一時ストップ状態がありました。市場売り製品についてはお客様が集まらず、製品の在庫が増えました。
- 製品の主な販売先が関東ということもあり、受注が減り7月くらいから影響が出始めた。また、一時的に副産物(チップ)の販売先での受け入れ制限がかかり、売上げが減った月があった。
- いまだコロナ感染症の収束が見通せず、住宅・建築市場のパイの減少は進むと思われる。景気後退は鮮明になってきている。
- 主要取引先は、関東・中部・関西で、商業施設・店舗(アパレルテナントが多い)・宿泊施設などを主としている企業で、物件延期、又は計画中止、立ち消えにより受注減。
- 物件の納期繰上げや一時中断が例年以上にみられ、2~3ヵ月先の見通しが立てづらくなった。2021年に入ると現場遅れに追随し実需が伸びず、プレカット製品以外の販売量は伸び悩んでいる。2~3月は品薄・コスト高があいまって、思うような販売展開が出来ていない。
- 予定していた新製品販売促進活動実施不可。施行計画の後ろ倒し、消滅による納品機会損失。生産済製品の定期的な出荷不可。

### <木工>

- 売場である百貨店がコロナ対策で実演販売不可で、販売行為ができない。ネットでは質感がわからず全く販売にならない。
- 主力販売先であるデパートの売上減により、かなりの影響であり、今後も大変だと思う。
- 取引先の休業に伴い。
- イベントや年末年始に利用される酒樽を製造しているので、日本酒業界の落ち込みや、お祝い事等がなくなり受注がかなり減った。

### <木材流通>

- 杉の製材工場では、受入れ制限が大きかったところと小さかったところとでバラツキあるが、大きな増減があった。合板工場、集成材工場は大きな落ち込みのあと、一気に需要回復となった。製紙用パルプは大きく落ち込んだが、バイオマス向けは伸びた。

### 3 コロナウイルス発生以降に発生した業務上の課題や顧客から新たに求められた対応等について具体的な内容を記載してください。

#### <森林整備>

- 今のところは特にないと思うが、製品の売上は減少しているので、原木にも遅れて影響がでるかどうかが今後不透明である。
- 輸出価格、仕入の高騰等と山林所有者から通され、商談がスムーズに進行しない（実際現実と異なる）。
- 原木の受け入れの制約による売上げ減。
- 販売先の新規開拓や施業種変更への臨機応変な対応。
- 納入先の減産により、少量の割り当てになりました。減少分を補う為、単価は安い納品先を増やしました。生産単価を下げる為、無利子の融資を受け設備投資をし、業績の影響が少なくなりました。
- 特になし。（1社）

#### <苗木生産>

- 特になし。（2社）

#### <木材加工>

- 関東方面の取引への訪問が出来ず苦慮している。現在のところ、顧客からの具体的な対応策は求められていない。従業員の感染防止対策。
- 得意先から営業に来社（訪問）禁止が多く、営業活動ができない。
- ラミナが徐々に値上がり始めており、価格転嫁に苦慮している。
- ZOOMなどのツールの活用。取引先担当のテレワーク業務への対応。
- 新製品発売による受注増を見込んで増員したが、新製品発表会等の中止により認知されず、計画の4分の1ほどの受注しかなく、増員人数が重くなっている。顧客倉庫も回転しないため、作ったものの移動できず、当社で保管する必要があり、スペースが不足している。

#### <木工>

- 製作体験自粛。再開のめどがたっていません。
- 家にこもる方が多く、反動で（まっけて）より高品質の製品の購買につながっている様です。
- 首都圏への実演販売に行けなくなった。コロナ対策のための備品購入の経費がかかる。
- イベントのキャンセル等多くあり、都内中心で販売しているので、「コロナ」の影響は大きい。
- 酒樽がメインの事業だったが、受注の大幅な減少により補助的に製造していた工芸品をどうにか販売できないものか検討した。

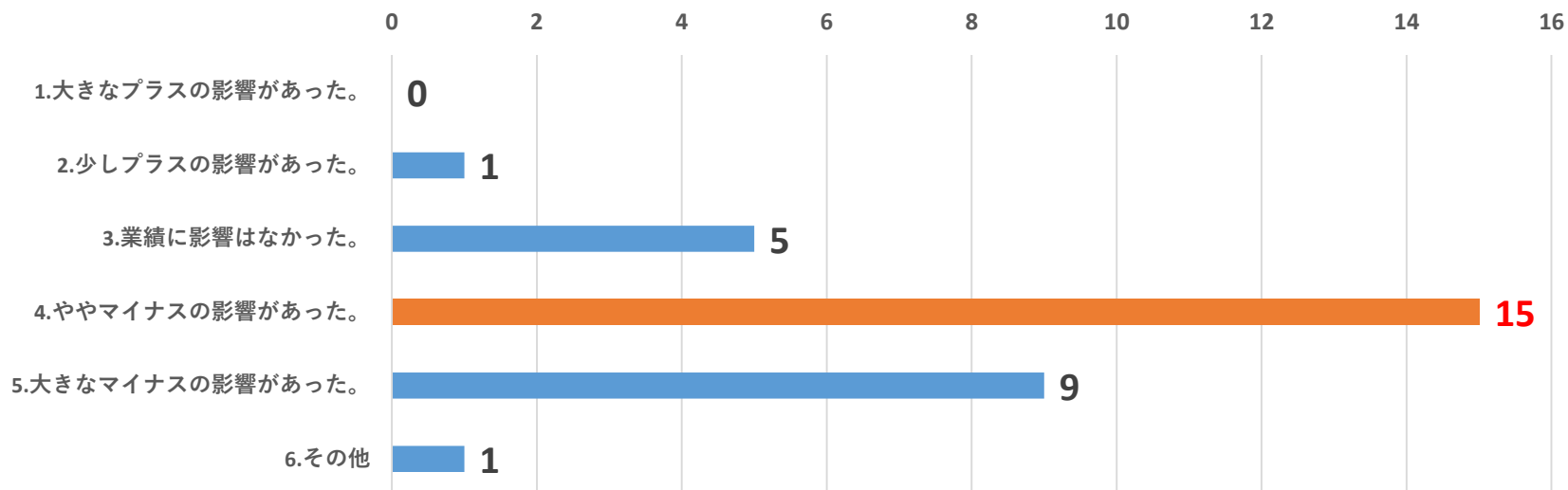
#### <木材流通>

- いかに適切な情報を素早く取得するかが課題。昨秋の需給ギャップを少なくするのが課題。仕入先からは確実な販売枠の確保を求められている。
- 特になし。（1社）

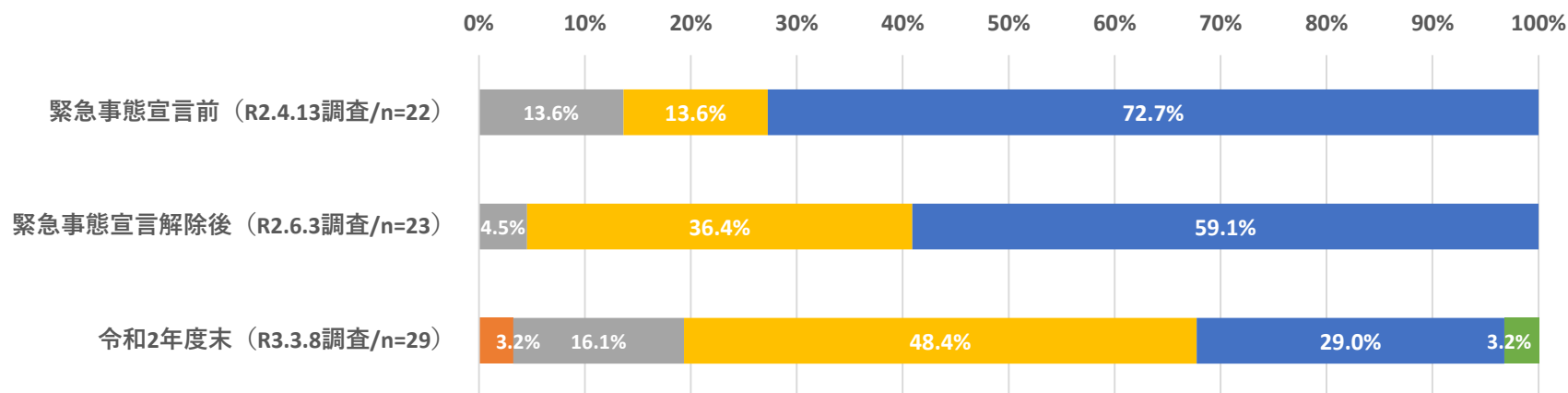


## 4-1 コロナウイルス発生以降の業績への影響について回答してください。

今回調査結果



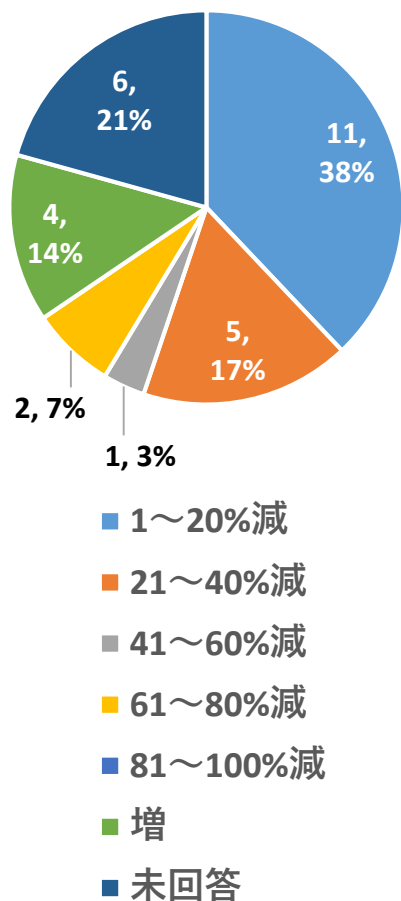
調査結果比較



■ 1.大きなプラスの影響があった。 ※   ■ 2.少しプラスの影響があった。 ※   ■ 3.業績に影響はなかった。 ※  
 ■ 4.ややマイナスの影響があった。 ※   ■ 5.大きなマイナスの影響があった。 ※   ■ 6.その他

※緊急事態宣言前 (R2.4.13) 及び緊急事態宣言解除後 (R2.6.3) の調査時の設問は「影響がある (ない) と思われる」としていた。

## 4-2 4-1の設問の回答についての要因等をお聞かせください。

売上増減  
(前年度比)

## 【プラスとなった要因】

## &lt;森林整備&gt;

- 昨年までの立木の切り控えが現在の原木不足につながっており、現在は合板も順調に納品できている。
- 国有林生産事業請負の生産量調整（作業打切。代替事業として保育事業（除伐）の受注）。

## &lt;木材流通&gt;

- 今までよりも取引先との会話を増やし、コミュニケーションを深めたため。販売先で増減バラツキあるが、受入制限期間を外してタイミングよく販売できたため。自社立木を安定して伐採できたため。

## &lt;木工&gt;

- ふるさと納税。インターネット（ホームページ）の直接販売の増。
- ふるさと納税の返礼品と東京のネット販売がプラス要因となった。

## 【マイナスとなった要因】

## &lt;森林整備&gt;

- 主に冬季間の丸太流通の停滞・受け入れ停止等を懸念し、冬の搬出間伐の計画をとりやめたりしたが、結果的には丸太の流通にはそれほど影響がなかった。（補助事業であるため途中で実施の方向に転換できなかった）立木で購入している山林の伐採はすぐ開始できたので影響は少ない。

- 合板材受入の減少に伴い素材生産量が減った。

- 市、財産区有林事業の間伐事業等の発注がなく、売上高の減少の要因の一つとなった。

## &lt;苗木生産&gt;

- 素材生産の減少に伴い造林面積が減った（苗木販売の減少）。
- 植樹祭中止となったため。

## &lt;木材加工&gt;

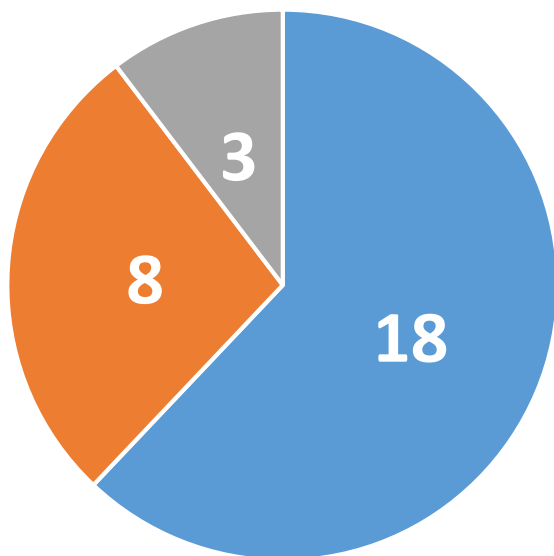
- 家を建てたいという計画があっても、施主自体が将来の見通しが出来ない為に先送りになっている。
- 住宅着工数の減少に伴う製材品需要の落込み。
- コロナにより物件、製品が顧客側も減により、発注減。
- 原材料の遅れによる。
- 住宅部の展示場閉鎖、及び住宅勤務等、営業活動に大きな営業が出た。
- 昨年上期全般に荷動きが悪く低調であったことから通期全体を通し足かせとなる。
- 増税前駆け込み需要の反動、現場がストップした等による売上減。

## &lt;木工&gt;

- 外出が出来ない事。
- 実演販売の中止。店舗休業。取引先休業。
- 人が集まるイベントができなくなった事。

5 コロナウイルス発生以降、業績・業務への影響を最小限に抑えるために取り組みましたことはありますか。「ある」と回答された方のみ、その取り組みについて具体的にお聞かせください。

### 今回調査結果

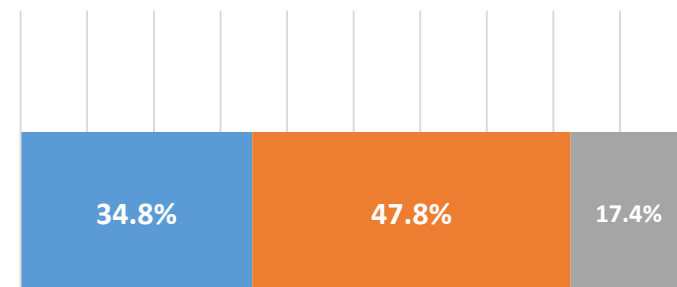


■ 1.ある ■ 2.ない ■ 3.未回答

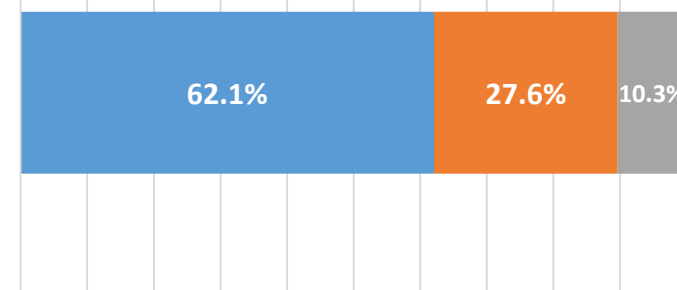
### 調査結果比較

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

緊急事態宣言解除後 (R2.6.3調査/n=23)



令和2年度末 (R3.3.8調査/n=29)



■ 1.ある ■ 2.ない ■ 3.未回答

## 5 コロナウイルス発生以降、業績・業務への影響を最小限に抑えるために取り組まれたことはありますか。「ある」と回答された方のみ、その取り組みについて具体的にお聞かせください。

### <森林整備>

- 東京（他県）に出張された方には14日間の休日とした。
- 立木等、買取を抑えた。
- スギ伐採を保留してカラマツや雑木の伐採に変更した。
- 作業員を休ませないよう山林の保育関係の作業へ変更してその期間を乗り切った。

### <木材加工>

- 県の運賃補助事業の活用。月200万円程度の補助を受けることが出来た。
- 仕入を減。在庫を減。
- 原材料の歩留向上の為に生産工程の見直しを行い、工程を変えて効率を上げるよう努力中である。
- 受注低下を食い止めようとしたが結果的には減産、減益の状況に陥る。
- 首都圏からの来客の制限。感染が疑われる場合の社内マニュアルの作成と周知。
- 修繕費削減に向けた専門技術職採用。残業時間削減のための労務管理をシフト変更による生産性向上。

### <木材流通>

- 取引先との会話、コミュニケーションをより深めて状況判断に努めた。制限前の売り切りや、仕入のタイミング、増量販売の交渉に努めた。

### <木工>

- WEB販売、地方発送。
- 今年2月に開催された「ギフトショー」に出展申し込みを昨年11月申し込みましたが、「コロナ」が終息していないため出店をキャンセルした。その出展料が戻らなかった事が厳しかった。
- 地域産業振興課より伝統的工芸品モニター等支援事業。県内の飲食店やホテル・旅館等を営む中小企業・個人事業者に対して、伝統的工芸品を試供用として提供しモニタリングを行った。（実施後各事業所よりアンケート票に回答してもらう）温泉旅館等8社へ提供し使用して下さり、大変良かったと喜ばれました。定価の8割を補助金として入金された。これからも事業者向けにも力を入れていきたい。

## Ⅲ その他（アフターコロナ・ポストコロナ）

## 6 現在抱えている課題や今後想定される課題をお聞かせください。 ※コロナウイルスの影響問わず

### <森林整備>

- 現場・事務両方とも人手不足は変わらない。
- 仕入先の在庫状況が停滞。
- 場に従事する者の高齢化がすすみ人員が減少している。新規従事者の確保、特に若年者の確保が課題。ICTやロボット等の先端技術の活用したスマート林業への取組が必要。
- 現在従業員の平均年齢若返り。それに伴う若年従業員の作業習熟時期の見通し。
- コロナ消息後の発注物件が多くなるのではないかと。それに対応できる環境を。
- 林業技術者の研修を3ヶ月位かけ若者の定着をはかってほしい。

### <苗木生産>

- 国内だけの問題だけではなく世界全体の経済に影響があるため、今後の素材生産に関連して苗木生産も変更しなければならないのか心配される。
- 特になし。(1社)

### <木材加工>

- 人材の確保が厳しくなっている(キーパーとしての適材の人が求人出しても来ない)。素材の確保が年々なくなっている(特に9月～11月が難しい)。トラブル時対応してくださる業者の材が減少している。大工さんの人材が年々減少傾向にあるので、物件があっても建築日数がかかり、大手ハウスメーカーに仕事が取られてしまう。
- 人材不足。
- 合板工場の生産調達で山元(国有林・民有林)からの出材が減り、製材用丸太の供給に影響が出てくるのが心配。感染拡大で、従業員及びその家族が感染することによる人員の確保や減産又は停止・休業対応。
- 21年度、物件数がどれ程なのか見当がつかない。(アフターコロナでも、経済回復までの期間)各社共、体力限界、廃業もでてきている。
- 外材コスト高に対する国産材への供給不足の懸念。
- 全体を通し製造コストの見直し、且つ大胆な戦略の見直し(減産体制で固定費削減等)。
- 人材確保、原料の安定供給、販路拡大。
- 受注数の確保、原材料の仕入れルート確保、労務費削減、機械保全のための部品等確保、機械保全に係る経費削減。

<続きあり>

## 6 現在抱えている課題や今後想定される課題をお聞かせください。【続き】 ※コロナウイルスの影響問わず

### <木工>

- 高樹齢材の曲げわっぱの作成に適した良質材が少なくなり、事業の継続が厳しくなってきた。
- 実演販売も再開されつつあるが、コロナによる人出の減少の影響がある。実演販売も含め、百貨店に依存した販売を脱却しなければならぬと感じている。
- 「事業の継承」今後の最大課題である。
- 職人高齢化が問題となる。現時点でギリギリの人数なので、一人でも欠けたら伝統工芸品製作が厳しい状況になるのが見える。もろもろの条件も時代に合わせていかないと人を育てるのが難しいのではないか。

### <木材流通>

- 今後の需要動向などしっかりと見極める必要がある。輸出材好調の流れがいつまで続くのか。首都圏需要がどこまで予測できるか。今後の輸入材の動き。などなど
- 人材不足、地元製材所の減少による納品先の遠距離化、労働時間、過積載。

## 7 6 の設問で記載いただいた課題の解決に向けて、川上分野、川中分野、川下分野、行政、研究開発その他の各分野に対する要望・意見をお聞かせください。

### 【川上分野（森林整備・素材生産・苗木生産）】

- 熊・小動物の里山出没防止のため、奥山への実のなりやすい樹種の植林をして緩衝帯設置及び災害防止を兼ねた森林環境整備。
- 丸太の安定供給。
- 適切な情報をお互い持ち寄り、うまく連携して取り組みたい。
- 特になし。（3社）

### 【川中（木材加工）】

- プレカット増設に伴い加工量の増強。
- 県産材利用をより進めたいが、商流のある仕入先が限定的である。
- 賃引き製材所がなくなってきた。赤身材以外の加工する小木工業社者がなくなった。
- 秋田杉の確保。
- 丸太おろし場の整備、時間外の受け入れ化。

### 【川下（木材利用・流通）】

なし

<続きあり>



## 7 6 の設問で記載いただいた課題の解決に向けて、川上分野、川中分野、川下分野、行政、研究開発その他の各分野に対する要望・意見をお聞かせください。【続き】

### 【行政（国・県・市）】

- 地方移住者等への林業の紹介、雇用の斡旋等。
- 引き続き運賃の補助金を継続していただきたい。非常に効果ありました。(できれば秋田市に出荷するものに対しても補助を検討してもらいたい)。市内の公共物件に対して製品納入業者を大館市内の製材業者と限定できないか？(市内の物件に対して他の地域から納入されているケースが見受けられる。
- 地主さんとの会話で固定資産税が負担となっている点が一番話題となっているので、環境譲与税を利用して固定資産税への転嫁は可能か？また、新植、再造林、保育にさらなるかさ上げをして地主に森林経営の魅力を持たせることを考えてあげたい。
- 高性能林業機械による生産性の向上を図るため、導入に対する支援をお願いしたい。木材の利用促進を積極的に進めていただきたい。
- 就職者または雇用者に対する支援（補助事業）。
- 雇用調達助成金、特例措置の存続。固定資産税の減免措置。公共料金（電気・水道）の負担軽減。
- 公共物件を多く前倒しで、木質使用を条件に出してもらいたい。
- 米代川流域の製材所減に対するの施策。
- 補助事業がコロナ対策に偏重しており、本来の林業分野の補助事業が少なくなってきているのでは。
- 環境貢献できる木材利用の周知、木材利用への助成をしてほしい。
- 安定的な原材料の手当て、150年以上の杉でふしの無い材料が欲しい。
- 伝統的工芸品を製作している業者にもっと支援してほしい。
- 人材育成の為の補助金整備、遠距離運賃の補助金助成。

### 【研究開発・その他】

- 造林・保育系統作業の高性能林業機械化など。
- 林業機械の自動化、遠隔操作化の開発・普及。
- 曲げる時に折れない方法の確立。製作の為の小木工機械・治具・工具開発補助金。
- 新商品開発の為の事業予算を考えてほしい。